

## 桃山学院中学校「学校評価」概略

2013年10月24日

桃山学院中学校・高等学校

校長 温井 史朗

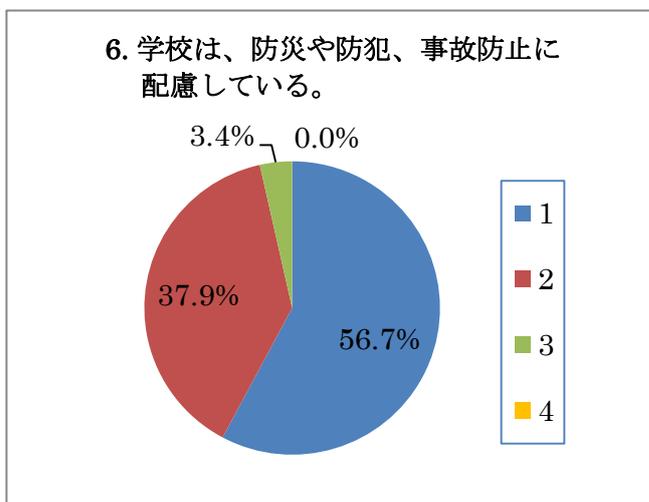
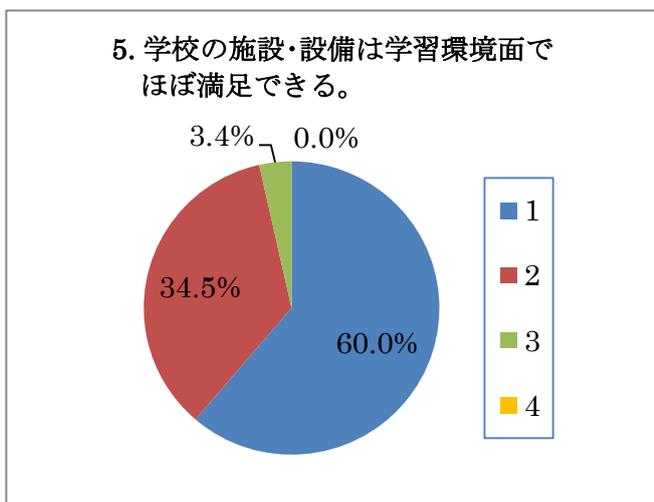
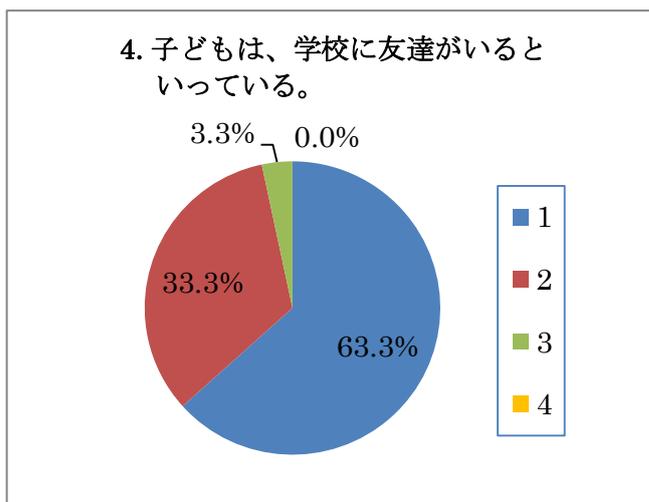
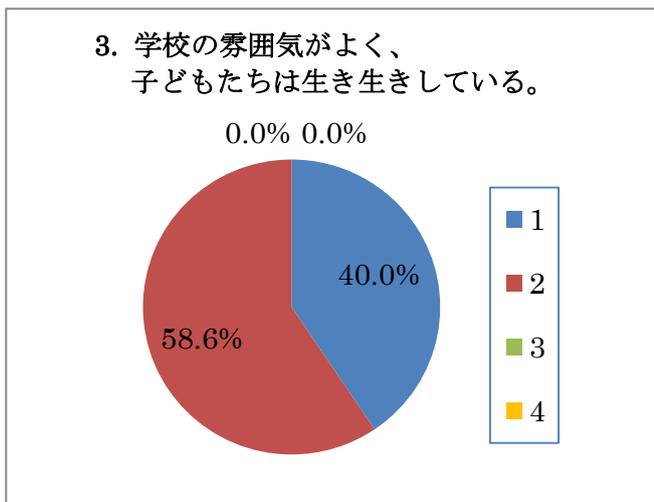
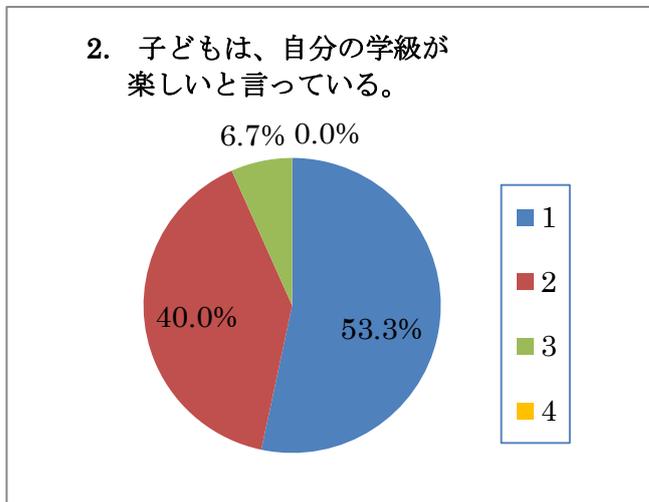
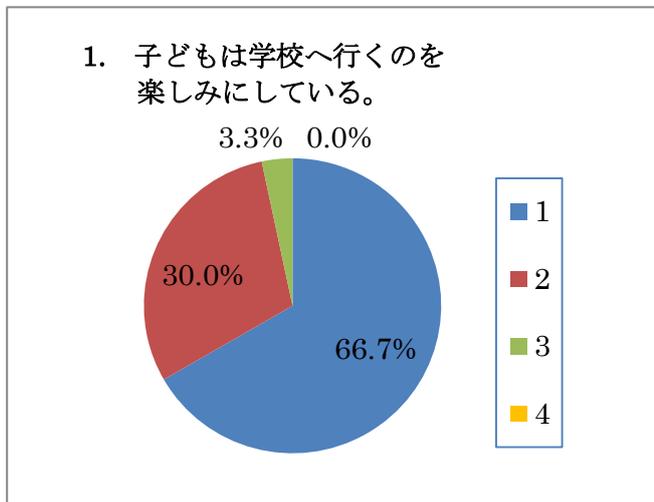
### 1. 教育活動に関して

1. 本校の基本理念である「自由と愛」のキリスト教精神に基づく教育を推進している。朝礼時には聖書の朗読と祈りを行い、また週に一度の中学校全体礼拝や、川口基督教会などの歴史ある教会を訪れての開校記念日礼拝やクリスマス礼拝を通じて、宗教的情操を育成するとともに、それぞれの人格を尊び、正義・公平を重んじ、また生命尊重と奉仕の精神をもって共同社会を築いていく人物の育成を目指している。
2. 月曜日から金曜日までの朝礼前は読書タイムを設けており、国語力だけではない幅広いものの見方や考え方を身につけるうえで効果をあげている。また、毎年弁論大会の他、中学3年次の修学旅行に向け、行き先や宿泊先、活動内容の詳細なプランを、生徒たちが自ら考え発表、投票して決めるなど、多様なものの見方を相互に確認しあうとともに表現力やプレゼンテーション能力の向上が図られている。
3. 月1回以上ある体験学習（オリエンテーション合宿・遠足・磯実習・平和学習・サマーキャンプ・芸術鑑賞・正月イベント・耐寒登山など）を通じて、学校生活では体験できない「生きる力を身につける」機会を作り、生徒同士の相互交流・相互理解を深め、豊かな人間性の育成を目指している。
4. 放課後には、週3回の自習ステージを設けている。生徒は自習する他にM1ゼミ（外部講師を招いての、応用力の強化を目的とした講習）やRゼミ（各教科の学習をフォローする、基礎力養成を目的とした講習）を選択することができ、授業で培った学力をさらに補強・伸長させることができる。
5. 健康アンケートが保健室によってなされ、生徒の健康状態の把握がなされた。アンケートでは、身体の発育測定だけでなく、精神面での安定度を知る設問もなされた。  
これによると、睡眠時間が7時間以上の生徒の割合が1年生で73.6%、2年生で約57.3%、3年生で47.9%と、十分な睡眠時間を確保している生徒が多いながらも、学年が上がるにつれて睡眠時間が減る傾向にある。アンケートの結果から、睡眠時間や携帯電話使用時間が体調にどのような影響を及ぼすか調べ、望ましい生活習慣を身に付けるよう、生徒への呼びかけを行っている。
6. 図書館が実施している利用アンケートも、生徒たちの読書傾向を把握する上で重要なデータとなっている。
7. 中学全学年を対象とした学校生活全般に関するアンケートと個々の授業に関するアンケートが2012年7月になされ、その評価に基づく改革が運営委員会・各学年を中心になされた。  
なお2011年度より、生徒による授業アンケートは各教科担当者の名前を記入するものとなり、各担当者の自覚を促し、前向きな授業改善に取り組んでいる。

8. 2012年12月、本校教員の学校評価と自己評価を行い、学校教育診断を行った。教員からは「学校評価」においても「授業評価」においても肯定的な回答が多数を占めた。

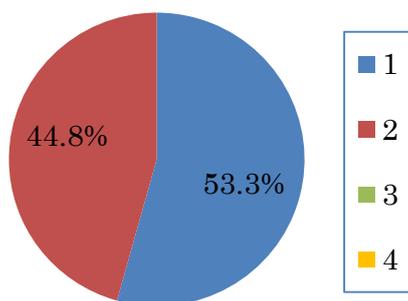
2. 2013年5月、PTA総会にて保護者による学校評価を行った。

1：よくあてはまる 2：ややあてはまる 3：あまりあてはまらない 4：まったくあてはまらない



7. 全般的に、保護者として、桃山学院  
中学校高等学校に満足している。

0.0% 0.0%



### 3. 2012年度学校評価（中学教員用）

4：はい。 3：どちらかと言えば、はい。 2：どちらかと言えば、いいえ。 1：いいえ。

教育方針 教育目標	1	教育方針を実施して教育目標を達成するために、具体的な教育計画が作成されていますか。	4	-	30%
			3	-	20%
			2	-	50%
			1	-	0%
	2	教育目標を達成するために、本校の教育方針や学校運営に関し、全職員の共通理解が図られていますか。	4	-	20%
			3	-	50%
			2	-	30%
			1	-	0%
	3	職員会議や校内各組織で提案された具体的目標や運営方針に基づいて、日常の教育活動を実施し、目標達成のための工夫・改善が図られていますか。	4	-	30%
			3	-	60%
			2	-	10%
			1	-	0%
	4	教育目標の達成に向けた教育活動が具体的に進められ、成果が上がっていますか。	4	-	10%
			3	-	50%
			2	-	30%
			1	-	10%
教育課程	5	教育課程の実施に当たっては、生徒の実態を十分踏まえ、教育目標の達成を目指したものとなっていますか。	4	-	20%
			3	-	50%
			2	-	30%
			1	-	0%
	6	教育課程の実施に当たっては、校内各組織の役割分担と連携が明確であり、それぞれの組織の考えが十分反映されるよう配慮されていますか。	4	-	10%
			3	-	60%
			2	-	30%
			1	-	0%
	7	教育課程を円滑に実施するための工夫・改善が、毎日の教育活動の中で図られていますか。	4	-	0%
			3	-	80%
			2	-	20%
			1	-	0%
	8	教育目標の趣旨に沿った教育課程を実施した結果、生徒一人ひとりの目標が達成されるなど、成果が上がっていますか。	4	-	0%
			3	-	70%
			2	-	30%
			1	-	0%

教科指導	9	各教科・科目の年間指導計画は、学校や生徒の実態を考慮して作成されていますか。	4	-	10%
			3	-	60%
			2	-	30%
			1	-	0%
	10	各教科・科目の学習活動が円滑に進められるように、教科会議、各部会、担任会、コース会議、委員会が互いに協力し合うなど、指導体制が確立されていますか。	4	-	10%
			3	-	40%
			2	-	50%
			1	-	0%
	11	学習内容を確実に身に付けることができるよう、授業内容に工夫・改善がなされていますか。	4	-	0%
			3	-	90%
			2	-	10%
			1	-	0%
12	指導の過程や成果を評価することによって、学習指導の改善を図り、生徒の学習意欲を向上させる努力をしていますか。	4	-	0%	
		3	-	50%	
		2	-	50%	
		1	-	0%	
生活指導 進路指導	13	教育目標に基づいた生徒指導や進路指導の年間計画が作成され、その全体構造と重点が明確にされていますか。	4	-	10%
			3	-	50%
			2	-	30%
			1	-	10%
	14	学校の実態に即して生徒指導や進路指導が組織され、教育目標を達成するための役割分担と連携が明確にされていますか。	4	-	20%
			3	-	50%
			2	-	20%
			1	-	10%
	15	生徒達に学則を守らせるため、教師集団の一員として、校則違反の生徒達に厳正に対応していますか。	4	-	50%
			3	-	50%
			2	-	0%
			1	-	0%
	16	教師と生徒が信頼関係で結ばれ、教育目標の達成に向けて互いに生き生きと活動していますか。	4	-	20%
			3	-	70%
			2	-	10%
			1	-	0%
ホームルーム 及び クラス運営	17	生徒の実態や発達段階を的確に把握し、教育目標の達成に向けてのホームルーム計画が適切に設定されていますか。	4	-	30%
			3	-	20%
			2	-	40%
			1	-	10%
	18	クラス運営に当たっては、生徒ひとりひとりの個性を把握し、その可能性を伸ばすための個人指導が適切になされていますか。	4	-	30%
			3	-	70%
			2	-	0%
			1	-	0%
	19	クラス運営にわたっては、クラス全体の特徴を理解し、各クラスの問題点に応じた集団指導が適切になされていますか。	4	-	40%
			3	-	60%
			2	-	0%
			1	-	0%
	20	クラス運営を充実したものとするため、また担任生徒や保護者からの信頼を得るため、教師としての研鑽に励んでいますか。	4	-	80%
			3	-	20%
			2	-	0%
			1	-	0%

#### 4. 学校評価に関して

桃山学院中学校高等学校は桃山学院例規集に掲載されている「学校点検評価規定」並びに「同外部評価委員会規定」に則り学校評価及び学校関係者評価を実施している。

2012年度の当評価は2013年10月22日に桃山学院評議委員会の間でも説明し、評議委員の皆様からの意見を伺った。

また2013年度末までには本学院監査室から、2012年度の学校評価が適正に行われているか、細部においての監査を受ける予定となっている。尚、2013年度の評価については既に2013年1学期末に全生徒対象に「授業アンケート」と「生活と意識調査」を実施した。